

生物多様性交流フェスティバル in ラスタ

主催：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団/ラスタホール 伊丹市

共催：伊丹市昆虫館 伊丹市立図書館南分館

2022年1月19日～2月7日 (9:00～21:00 日・祝は17:00まで※火曜休館)

ラスタホール1階エントランスホール

★伊丹近隣の自然団体活動紹介パネルが大集合！

★生物多様性いたみ戦略、取り組みの紹介

★ラスタホール（敷地内）で見つけた虫と花

★生物多様性おすすめ Book 紹介（南分館内）

★講演会「昆虫探検学者 西田賢司のミラクル昆虫ワールド」 ←詳細は裏面に！



お問い合わせは・・・ラスタホール (072-781-8877) まで

かけがえのない「生物多様性」

～これからの社会を生きるための大切な価値観の一つ～

私たち人間も含め、3,000万種ともいわれる地球上の生き物は、食べたり食べられたり、お互いに関係しながら網の目のようにつながって生きています。生物多様性は、このような生き物の多様なありさまを一言で表した言葉で、地球上に生命が誕生して以来、長い進化の歴史の中で培われ、私たち人間の生活基盤の安定性をもたらしています。近年、この生物多様性が「開発などの人間活動」「自然に対する働きかけの縮小」「外来生物や化学物質」「地球温暖化など地球環境の変化」によって、世界各地で急速に劣化しています。平成4年の生物多様性条約締結を契機として国際的関心が高まり、各国でさまざまな取り組みが進められていますが、現在も損失が続いています。人間には、生き物の命を創りだすことはできません。私たちは、地球上の命が人間を含めて互いにつながりあい支えあっていることをあらためて認識し、「生物多様性の保全と持続可能な利用」に向けて、謙虚に、行動することが求められています。